

世帯のネットオークション利用意向と不安に関する分析

小原 宏 郵政総合研究所プロジェクト研究部研究員

大江 宏子 郵政総合研究所プロジェクト研究部長

1. はじめに

近年わが国では、インターネットの利用世帯が増加し、ネット上での商品売買に伴う送金・決済やその他の金融サービスの利用も拡大しつつある。一方、フィッシング詐欺¹など、ネット金融の利用の進展に伴う新たな問題も発生してきており、より安全性の高い取引の仕組みが求められる状況となっている。

そこで本報告では、ネットフィッシング詐欺の発生以降、総務省(2006)等多くの文献で指摘されている「ネット金融利用に関するセキュリティの問題」に着目し、その視点も含み、世帯が利用するネット取引のうち、不定期・随時の利用が多いと考えられるネットオークションの利用状況や今後の利用意向について分析するとともに、一般的なネット金融取引の仕組みに比べて安全性が高いといわれるペイジー (pay-easy) の利用意向にも焦点を当てて分析を試みる。

2. 使用データ

本報告で使用したデータは、郵政総合研究所が2年おきに全国の世帯を対象として実施している「暮らしと金融機関利用に関する意識調査」の結果である。この調査では、世帯の属性や保有資産、ネット金融、ネットショッピング、ネットオークションの利用状況についての設問があり、また、利用の有無を問わず、それらに対する意識や今後の利用意向についても詳細な質問項目が設けられている。

本報告では、これらの調査のうち、最新調査である2005年の結果を分析対象とした²。具体的には、この調査結果のうち、世帯のプロフィールやネット金融・ペイジーの利用状況など分析に必要な項目にすべて回答した単身及び2人以上の普通世帯を対象として分析を行った。

以下、利用データを概観する。利用データの

基本統計量をみると、世帯主の平均年齢は53.8歳、世帯年収300万円未満の割合は28.5%、300万円以上1千万円未満は61.2%、1千万円以上は10.3%となっている。また、被説明変数のうちネットオークションの利用経験世帯は全体の10.6%、今後の利用意向を有する世帯は11.6%となっている。

3. 分析モデルおよび変数の概要

以下では、ネットオークションの利用経験の有無(経験あり世帯=1、他=0)、今後の利用意向の有無(意向あり世帯=1、他=0)およびペイジーの利用意向の有無(意向あり世帯=1、他=0)を被説明変数とする分析を行う。このように被説明変数が質的変数であることから、本分析にはプロビットモデルを用いる。

また、説明変数は世帯の属性や居住地のほか、ネットバンキングあるいはネットショッピングの利用経験の有無、およびネットオークションに関する利用意識のうち「セキュリティが不安」の設問の回答を用いた。

(1) ネットオークションの利用経験分析結果の概要

ネットオークションの利用経験の有無に関する分析の結果は巻末表左欄のとおりである。5%水準で有意な変数をみると、大都市に対する「人口5万人以上15万人未満の市」が(負)、ネットバンキングとネットショッピングの利用経験がいずれも(正)となっている。世帯の属性よりは、現時点でのネット取引経験が効いていることがうかがえる。

(2) ネットオークションの利用意向分析結果の概要

ネットオークションの経験世帯に加えて、参加したことは無いが知っているという世帯をも含めて、今後の利用意向を分析した結果をみると、年齢(負)、同二乗項(正)、年収2,000万円~5,000万円未満の世帯で(正)、世帯主の職業が無職で(負)と、利用経験の分析結果と比べて若干世帯の属性が効いてくる。また、ネットバンキングやネットショッピングの利用経験がネットオークションの利用経験の分析結果と同様に(正)となっている。年齢が上がるほど選択確率が低下するものの、その減り方は遞減的であることがうかがえるし、世帯主が無職

¹ 朝日・サンケイ・日経・毎日・読売の5紙をみると、「フィッシング詐欺」という用語は2004年5月に始めて記事内に出現し、月間では2005年2月の出現数がこれまでのピークである。

² 詳細は、郵政総合研究所調査概要ページ

http://www.japanpost.jp/research/kinyu/kikan_index.htmlを参照されたい。

の世帯では世帯主が民間企業に就業している世帯に比べて選択確率が低いことがうかがえる。

(3) ペイジーの利用意向分析結果の概要

一般のネット送金・決済に比べて安全性が高いとされるペイジーの今後の利用意向についてみると、世帯の属性等はいずれも有意でない。また、ネットバンキングやネットショッピングの利用経験が(正)、また、ネットオークションに関する「セキュリティが不安」も(正)となっている。ペイジーの利用に関する意向は、世帯の特性というよりは、現在のネット取引の経験や利用におけるセキュリティ上の不安が効いていることがうかがえる。

4. まとめ

以上、随時利用が多いと考えられるネットオークションの利用、その意向、および一般的なネット金融取引の仕組みに比べて安全性が高いといわれるペイジーの利用意向に影響を与える要因を検討してきた。

その結果、現時点ではネット上での取引経験がネットオークションやペイジーの今後の利用意向に正の影響を与えていること、利用におけるセキュリティ上の不安がペイジーの利用意向に正の影響を与えていることなどがうかがえる結果となった。

これらについては、さらに精緻な分析やデータの蓄積が必要であるものの、これらの背景にあるインターネットやネット上での取引、決済等の利用は一層進展することが明らかであることから、利用促進のため、更にサービスの周知に努めるとともに、アクセスの改善に配慮しつつセキュリティの向上を図っていくことが求められることとなる。

【参考文献】

大塚時雄、大江宏子(2006)「消費行動における金融機関アクセシビリティに関する実証的研究」2006年度生活経済学会関東部会報告論文、東京家政学院大学
 小原宏(2006)「近年における世帯のインターネット金融の利用要因分析」2006年度生活経済学会関東部会報告論文、東京家政学院大学
 新堂精士(2005)「消費者が意思決定で重視する情報 - ネットオーダーを中心に」『研究レポート』富士通総研経済研究所、No.218、pp.1-18
 総務省(2006)「平成18年 情報通信に関する現状報告 特集 - ユビキタスエコノミー」
 日本マルチペイメントネットワーク推進協議会・日本マルチペイメントネットワーク運営

機構(2006)「『Pay-easy(ペイジー)』認知度調査について

APWG “APWG PHISHING ACTIVITY TRENDS REPORT”
 各年月版 <http://www.antiphishing.org/>

表 プロビットモデルによる推定結果

	ネットオークション利用経験			ネットオークション意向有無			ペイジー利用意向有無		
	Coef.	z	P> z	Coef.	z	P> z	Coef.	z	P> z
世帯主年齢	0.00	-0.05	0.960	-0.06	-3.52	0.000	0.04	1.16	0.245
同一集項	0.00	-0.71	0.481	0.00	2.45	0.014	0.00	-1.18	0.238
世帯年収ダミー(ベース:300万円未満)									
400万円未満	-0.01	-0.06	0.950	0.11	0.90	0.369	0.02	0.11	0.914
500万円未満	0.09	0.68	0.495	0.19	1.60	0.111	0.22	1.10	0.272
600万円未満	-0.08	-0.54	0.592	0.12	0.95	0.344	0.02	0.09	0.929
700万円未満	0.12	0.76	0.447	0.26	1.93	0.054	0.20	0.81	0.419
800万円未満	-0.18	-1.10	0.273	0.26	1.82	0.069	-0.02	-0.06	0.955
1000万円未満	-0.18	-1.14	0.253	0.09	0.65	0.514	-0.27	-0.91	0.365
1500万円未満	-0.13	-0.78	0.433	0.13	0.88	0.377	0.11	0.43	0.666
2000万円未満	0.12	0.48	0.631	0.21	0.88	0.378	0.36	0.97	0.331
5000万円未満	0.20	0.56	0.573	0.71	2.34	0.019	0.30	0.52	0.600
世帯主職業(ベース:民間企業に勤務)									
官公庁に勤務	-0.05	-0.36	0.716	-0.06	-0.55	0.585	-0.03	-0.15	0.881
その他団体に勤務	0.01	0.07	0.945	-0.17	-1.00	0.318	-0.23	-0.60	0.548
農林漁業に従事	0.05	0.14	0.887	-0.33	-1.01	0.310	0.33	0.77	0.440
個人経営・自営業	0.12	1.14	0.256	0.07	0.77	0.440	0.07	0.41	0.680
パート・アルバイト	-0.14	-0.81	0.417	-0.08	-0.53	0.593	0.35	1.60	0.110
その他	-0.15	-0.41	0.681	-0.27	-0.90	0.370	0.11	0.22	0.822
無職	-0.26	-1.37	0.170	-0.43	-2.64	0.008	-0.17	-0.58	0.562
持ち家ダミー	-0.02	-0.19	0.846	0.10	1.14	0.254	-0.22	-1.48	0.139
居住地ダミー(ベース:都区・政令市)									
15万人以上の市	-0.06	-0.68	0.495	0.13	1.53	0.126	-0.11	-0.70	0.482
5万人以上の市	-0.24	-2.18	0.029	-0.05	-0.53	0.593	0.00	-0.02	0.983
5万人未満の市	0.03	0.18	0.860	0.15	0.99	0.322	-	-	-
町村	0.00	-0.03	0.978	0.19	1.76	0.078	0.14	0.77	0.443
ネットバンクの利用経験	0.67	7.53	0.000	0.76	8.81	0.000	0.63	4.43	0.000
セキュリティが不安(ネットオークション)	0.06	0.76	0.447	0.12	1.76	0.079	0.25	1.99	0.046
ネットショッピングの利用経験	1.59	18.13	0.000	0.91	12.77	0.000	0.45	3.18	0.001
定数項	-1.66	-3.53	0.000	-0.06	-0.15	0.879	-3.39	-4.21	0.000
Number of obs	3645			3645			3442		
Pseudo R2	0.39			0.27			0.15		
Log likelihood	-760			-955			-245		

備考: 網掛け部分は、有意水準5%で係数が0であるという帰無仮説が棄却される範囲内であることを示す。